

「サンガ」オープン予定日 基本的に週末オープンですが、都合により急きょオープン日を変更することもあります。「サンガ」ホームページ(カレンダー)等でもご確認ください♪
 ※下のカレンダーで白抜きがオープン予定日です

2月予定 (10:00~15:00)

3月予定 (10:00~15:00)

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

毎月 第1日曜
五福の縁結び

聴覚障害者、中途失聴者のつどい

聴覚障害者、中途失聴者のつどい

2月6日~12日 丼D-1グランプリ(呉服町周辺)

3月11日 聴覚障害者の耳の日のつどい(有田にて)

3月27日 白玉稻荷神社初午様 (唐津神社にて)

【中途失聴者のつどい】サンガ
毎月第4火曜日
13時30分から15時

耳の聞こえない当事者だけでなく、ボランティアをしたい人も気軽に参加ください。手話を学びたい人、パソコンをしたい人、パソコンが得意な人、自分のできることでもかかわってみませんか？

【ボランティアを求む】



見守りなどお手伝いのできる人を求めています。

毎月1回の茶話会や親子での参加行事を開催しています。

Sumile (スマイル) しょうがい児とその家族を応援する会



ご自身の車で、送迎のボランティアをしてくださる人を求めています。

月に2~3回でも。外出支援サービス ボランティアグループ

にこにこサポート(旧大成小学校跡)

ボランティアを募集している団体やボランティアをしたい人は「サンガ通信」で呼びかけをしませんか？
 ご気軽にご相談ください。問い合わせは、サロン「サンガ」へお願いします。

【「サンガ」の仲間を募集】

活動に賛同してくださる個人会員(年会費1,200円)さん、団体・企業さんを募集しています。詳しくは「サンガ」ホームページをご覧ください。
 29年度より「サンガ会員証」カードの発行を始めました。

【「サンガ」の支援・応援をありがとうございます！ 賛助団体・企業紹介】

唐津ガス(株)・麻生本家・のだ陶器店・メディカルアロマ Lemongrass・(有)平田印刷・
 (有)ガハハハウス・唐津手話の会・唐津要約筆記の会



発行責任者 障がい者情報・コミュニケーションサロン
 「サンガ」代表 坂井 由美子
 唐津市呉服町 1794 番地(〒847-0052) TEL・FAX 0955-88-9025



E-Mail salon.sangha@gmail.com

HP アドレス https://salon-sangha.jimdo.com

サンガ通信

第14号
2018. 2. 発行

サンガとはサンスクリット語で「集い、団体」を意味する言葉です。
「サンガ」は、障がい者(児)とその家族、そしてボランティアに関心のある人のサロンです。

去年の夏、車椅子ソフトボールで世界大会に出場した
松本幸喜さん(唐津在住)に、取材をしました。



サンガでの活動紹介

小物作り、初詣、黄色いレシート



写真の松本幸喜さん(現在31歳)は、18歳の時に事故
で脊椎損傷し、車椅子での生活となられました。

小学校から少年野球を始め、中学では硬式野球のク
ラブチームでプレーし、高校時代には甲子園を夢見た青
年です。

ガッチリした体格に爽やかな笑顔。いかにもスポーツ
マン。取材 A.A 裏面に続く

他の掲載内容



B型「ほいっぽ」さんの紹介

現在、市役所の福祉課勤務。テキパキとデスク
ワークや出張をもこなしていられる松本さん。
お忙しい時間をぬって、取材の質問に優しく穏や
かなしゃべりで答えてくれました。



現日本ハムファイターズ
矢野謙次選手と一緒に。



【唐津ガス株式会社】

唐津ガスさんでは、介護福祉用具の取り扱いをされています。
介護を受ける方の状態が少しでも改善され、またご自分でできることが一つでも
増えるように。そして快適で楽しい生活になるお手伝いをさせていただきます。
お問い合わせは、☎ 0955-72-3121 (福祉事業担当さんへ)

サンガ支援企業の紹介

Q1. 事故によって車椅子生活になられたそうですが、一番大変だったことはなんですか？

A. 今まで出来たことが全くできなくなったことです。夢を追いかけていた時期だったので、目標をなくした喪失感がとても強かったです。現状を受け入れることにとっても時間を要しました。健常者の頃にはわからなかった「周りの人への感謝の気持ち」が強くなり、人として良い方向へ変わりました。障がいになった初めは辛いことが多いけれど、今では自己成長のためのかけがえのない時間の日々と思えます。

Q2. それを乗り越えられたきっかけはなんですか？

A. 家族や友人が外へ連れ出してくれました。また当時勤務していた宇都宮病院の方々のご配慮により仕事に復帰出来たこと、郷土芸能への参加、東日本大震災へのボランティアの参加、社会人野球チームのマネージャーなどが、活力となっています。

さまざまな年齢の方(100名)にアンケートを取りました。

質問: 車椅子のスポーツで知っている競技はどれですか？

結果:	1位	バスケットボール	55名
	2位	テニス	25名
	3位	マラソン	14名
	4位	卓球	3名
	5位	ラグビー	2名
	6位	ソフトボール	1名

※アンケートのご協力をありがとうございました。



Q3. この結果を見ていかがですか？

A. 非常に残念な気持ちであるのが率直な感想です。

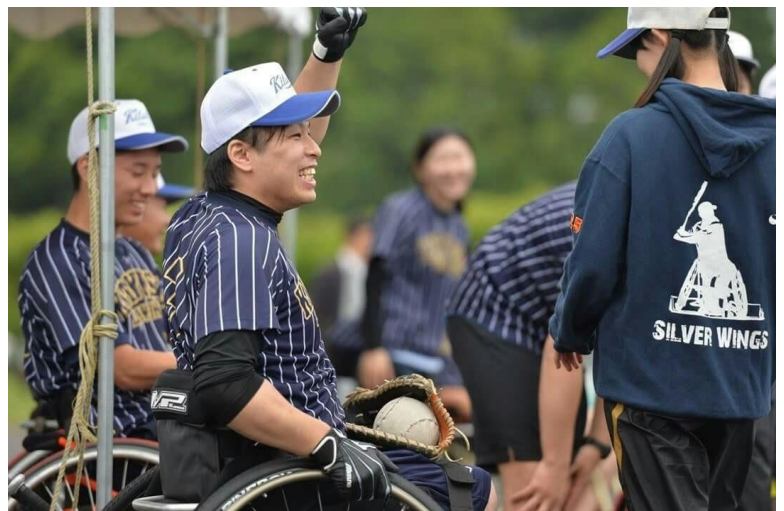
現在、車椅子ソフトボールチームが北九州に1チームしかないので、マイナー競技であるのは間違いありません。アメリカでは選手全てが障がい者でなければならないという規定がありますが、日本では障がい者スポーツ指導員の資格が取れるため、学生をはじめ健常者、男女、年齢制限もありません。競技用の車椅子に座るだけという魅力的なスポーツであると思います。

興味を持っていただけたら嬉しいです。

😊 取材時に自分はまだまだ未熟者でもっと精進なくてはと語る松本さん。日々心がけていることは、プラスの言葉を発するようにしているとおっしゃっていました。

彼の周囲に対する配慮や笑顔に元気ももらいました。

A. A



仲間の紹介

昨年、特定非営利活動法人フレンドハウスさんが、B型事業所の「ほいっぽ」を立ち上げられました。その事業所を見学に行きましたので紹介します。

作業内容は、現在午前中を中心に発泡スチロールの回収とその加工です。発泡スチロールに付いている汚れやシールなどこまめに取り除き、機械を使い圧縮し塊にします。その後、塊を業者に販売します。そこで製品化され、大型量販店に陳列されます。

唐津の量販店にも額縁などの製品となって販売されているようです。

利用者さんの作業に集中する姿。今回は、今までにない利用者さんの一面を見ることが出来、頼もしく思いました。

フレンドハウスホームページ <http://friendhouse.or.jp/>

しゅうろうけいぞくしえん がたじぎょうしょ
就労継続支援B型事業所

ほいっぽ



活動紹介

10月 ・サンガにて一足早い
「リース作り」(下写真)



12月 ・呉服町通りのイベント「五福の縁結び市」
Lemongrass さんが、サンガでの交流を兼ねて
ハンドタッチングに來訪。
・イオンにて「黄色いレシート活動」

1月 ・会員さんに呼びかけ唐津神社へ初詣。参拝後、サンガにて茶話会。今年も頑張ります。



【障がい者就労移行支援・就労継続支援B型事業所 ガハハハウス】

暮れからの野菜高騰が続いています。ガハハハウスでは 12月中旬から冬野菜が収穫できるようになり、小松菜、チンゲン菜、かぶ、ほうれん草等を出荷しています。水にお湯を足しての野菜洗いは大変ですが皆さん元気いっぱい頑張っています。また、佐賀県オフサイトセンターの清掃業務を請け負って2年目ですが、週1回建物内や外回りの清掃に出るのも気分転換になっているようです。今年度もB型工賃時給平均単価「佐賀県1位」を目指して頑張ります。 問合せ:0955-79-0173